

復活節第4主日特祷

永遠の契約の血によって良い羊飼い、主イエス・キリストを死人のうちからよみがえらせられた平和の神よ、どうか、わたしたちをみ旨にかなう者とし、み前に喜ばれるすべての良い業を行わせてくださいますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン

旧約聖書 民数記 27章 12-23節

12 主はまたモーセに言われた。「このアバリム山に登り、わたしがイスラエルの人々に与えた土地を見渡しなさい。 13 それを見た後、あなたもまた兄弟アロンと同じように、先祖の列に加えられるであろう。 14 ツインの荒れ野で共同体が争ったとき、あなたたちはわたしの命令に背き、あの水によって彼らの前にわたしの聖なることを示そうとしなかったからだ。」このことはツインの荒れ野にあるカデシュのメリバの水のことを指している。

15 モーセは主に言った。 16 「主よ、すべての肉なるものに霊を与えられる神よ、どうかこの共同体を指揮する人を任命し、 17 彼らを率いて出陣し、彼らを率いて凱旋し、進ませ、また連れ戻す者とし、主の共同体を飼う者のいない羊の群れのようにしないでください。」

18 主はモーセに言われた。「霊に満たされた人、ヌンの子ヨシュアを選んで、手を彼の上に置き、 19 祭司エルアザルと共同体全体の前に立たせて、彼らの見ている前で職に任じなさい。 20 あなたの権威を彼に分け与え、イスラエルの人々の共同体全体を彼に従わせなさい。 21 彼は祭司エルアザルの前に立ち、エルアザルは彼のために、主の御前でウリムによる判断を求めねばならない。ヨシュアとイスラエルのすべての人々、つまり共同体全体は、エルアザルの命令に従って出陣し、また引き揚げねばならない。」

22 モーセは、主が命じられたとおりに、ヨシュアを選んで祭司エルアザルと共同体全体の前に立たせ、 23 手を彼の上に置いて、主がモーセを通して命じられたとおりに、彼を職に任じた。

詩 編 第 100 篇

- 1 世界よ、主に向かって喜びの声を上げ // 喜んで主に仕え、歌いながらみ前に進め
- 2 主こそ神であると知れ、神はわたしたちを造られた // わたしたちは神のもの、その民、その牧場の羊
- 3 感謝して門をくぐり、賛美して中庭に入れ // 神に感謝を献げ、み名をたたえよう
- 4 主は恵み深く、慈しみは限りなく // そのまことは世々に及ぶ

使徒書 使徒言行録 13 章 15-16, 26-33 《34-39》 節

15 律法と預言者の書が朗読された後、会堂長たちが人をよこして、「兄弟たち、何か会衆のために励ましのお言葉があれば、話してください」と言わせた。 16 そこで、パウロは立ち上がり、手で人々を制して言った。

「イスラエルの人たち、ならびに神を畏れる方々、聞いてください。

26 兄弟たち、アブラハムの子孫の方々、ならびにあなたがたの中において神を畏れる人たち、この救いの言葉はわたしたちに送られました。 27 エルサレムに住む人々やその指導者たちは、イエスを認めず、また、安息日ごとに読まれる預言者の言葉を理解せず、イエスを罪に定めることによって、その言葉を実現させたのです。 28 そして、死に当たる理由は何も見いだせなかったのに、イエスを死刑にするようにとピラトに求めました。 29 こうして、イエスについて書かれていることがすべて実現した後、人々はイエスを木から降ろし、墓に葬りました。 30 しかし、神はイエスを死者の中から復活させてくださったのです。 31 このイエスは、御自分と一緒にガリラヤからエルサレムに上った人々に、幾日にもわたって姿を現されました。その人たちは、今、民に対してイエスの証人となっています。 32 わたしたちも、先祖に与えられた約束について、あなたがたに福音を告げ知らせています。 33 つまり、神はイエスを復活させて、わたしたち子孫のためにその約束を果たしてくださったのです。それは詩編の第二編にも、

『あなたはわたしの子、
わたしは今日あなたを産んだ』
と書いてあるとおりです。

《 34 また、イエスを死者の中から復活させ、もはや朽ち果てることがないようになされたことについては、

『わたしは、ダビデに約束した
聖なる、確かな祝福をあなたたちに与える』

と言っておられます。 35 ですから、ほかの個所にも、

『あなたは、あなたの聖なる者を
朽ち果てるままにしてはおかれない』

とされています。 36 ダビデは、彼の時代に神の計画に仕えた後、眠りについて、祖先の列に加えられ、朽ち果てました。 37 しかし、神が復活させたこの方は、朽ち果てることがなかったのです。 38 だから、兄弟たち、知っていただきたい。この方による罪の赦しが告げ知らされ、また、あなたがたがモーセの律法では義とされえなかったのに、 39 信じる者は皆、この方によって義とされるのです。》

福音書 ヨハネによる福音書 10章 22-30節

22 そのころ、エルサレムで神殿奉献記念祭が行われた。冬であった。 23 イエスは、神殿の境内でソロモンの回廊を歩いておられた。 24 すると、ユダヤ人たちがイエスを取り囲んで言った。「いつまで、わたしたちに気をもませるのか。もしメシアなら、はっきりそう言いなさい。」 25 イエスは答えられた。「わたしは言ったが、あなたたちは信じない。わたしが父の名によって行う業が、わたしについて証しをしている。 26 しかし、あなたたちは信じない。わたしの羊ではないからである。 27 わたしの羊はわたしの声を聞き分ける。わたしは彼らを知っており、彼らはわたしに従う。 28 わたしは彼らに永遠の命を与える。彼らは決して滅びず、だれも彼らをわたしの手から奪うことはできない。 29 わたしの父がわたしにくださったものは、すべてのものより偉大であり、だれも父の手から奪うことはできない。 30 わたしと父とは一つである。」